

第15回のじぎくオープンゴルフ選手権大会

1次予選競技会

開催日：令和3年5月6日（木） 予備日：5月7日（金）

兵庫県ゴルフ連盟

開催コース：宝塚高原ゴルフクラブ

ローカルルール

- アウト・オブ・バウンズの境界は白杭をもって標示する。ただし、現にプレーするホールの白杭を結ぶ線を越えて他のホールに止まった球はアウト・オブ・バウンズの球とみなす。
- 修理地は青杭または白線をもってその境界を標示する。
- レッド・ペナルティ・エリアの境界線は赤杭または赤線をもって標示する。線と杭が併用されている場合はその線がその境界を定める。
- すべてのホールで第1打がアウト・オブ・バウンズまたは紛失球となった場合は、特設ティより第4打としてプレーしなければならない。
- 14番ホールにおいて球がレッド・ペナルティ・エリアに入ったときは特設箇所より1打を付加してプレーすることができる。
- 「クローズド (Closed)」の標示のあるグリーンは「目的外のグリーン」とし、そのグリーンおよび外周1クラブレングス以内に球が止まった場合は救済を受けなければならない。この違反の罰は2打とする。
- カート及びカートに載っているキャディバックは、局外者とみなす。
- 排水溝・舗装した道路・他人工構築物は動かさない障害物とする。
- 電磁誘導カート用の2本の軌道はその全幅をもって人口の表面を持つ道路とみなす。
- 舗装された道路に接した排水溝は、その道路の一部とみなす。
- 特定の用具の使用制限
『適合ドライバーヘッドリスト・ローカルルールひな型 G-1』を適用する。
『溝とパンチマークの仕様・ローカルルールひな型 G-2』を適用する。
『適合球リスト・ローカルルールひな型 G-3』を適用する。
- 規則 5.5b は次のように修正される：2つのホールのプレーの間、プレーヤーは次のことをしてはならない。
・終了したばかりのパッティンググリーンやその近くで練習ストロークを行う。または、
・終了したばかりのパッティンググリーンの表面をこすったり、球を転がすことによってパッティンググリーンをテストする。
- プレーの中断と再開
 - プレーの中断（落雷などの危険を伴わない気象状況）については、規則 5.7a, b, c, d に従って処置すること。
 - 険悪な気象状況にあるため、委員会の決定によりプレーが中断となった場合、同じ組の競技者全員がホールとホールの間をいたときは、各競技者は委員会よりプレー再開の指示が出るまでプレーを再開してはならない。
1 ホールのプレーの途中であったときは、各競技者はすぐにプレーを中断しなければならず、そのあと、委員よりプレー再開の指示が出るまでプレーを再開してはならない。
競技者がすぐにプレーを中断しなかったとき、規則 5.7b に定められている、プレーを止めなかったことが正当であると委員会が裁定した場合、罰はない。
 - プレーの中断と再開の合図について
通常のプレー中断：無線を鳴らして通報する。
険悪な気象状況による即時中断：カート無線を鳴らして通報する。
プレーの再開：カート無線を鳴らして通報する。

競技の条件

- ゴルフ規則
日本ゴルフ協会ゴルフ規則とこの競技のローカル・ルールを適用する。
- 競技委員会の裁定
競技委員会は競技の条件を修正する権限を有し、すべての事柄について、この委員会の裁定は最終である。
- 競技終了時点
本予選競技は、競技委員長が成績発表がなされた時点をもって終了したものとみなす。
- 移動
正規のラウンド中、乗用カートの乗車を認める。
- 本競技のスコアは、「トーナメントスコア」として NEW J-sys 内で扱われる対象の競技スコアとなる。本競技のスコアを NEW J-sys にプレーヤーもしくはプレーヤーの所属するゴルフ倶楽部が登録する際、スコアの種別を「トーナメント」に指定して登録すること。
- ローカルルールの違反の罰
・違反がホールとホールの間や、ホールとホールの間まで続く場合、プレーヤーは次のホールで一般の罰を受ける。

注 意 事 項

1. 男性ティーマーク： 黄マーク 女性ティーマーク： 赤マーク
2. 正規のラウンド中に2点間の直線距離以外の高低差などが計測できる距離測定器を使用した場合は、プレーヤーは規則4.3a(1)の違反となる。
3. 競技の条件やローカルルールに追加、変更のあるときは、スタート前に掲示して告知する。
4. グリーンに著しく損傷を与えるシューズは使用禁止とすることがある。
5. 練習は、指定練習場で行い、打球練習場では備え付けの球を使用すること。(スタート前の練習球は1箱24球までとする) 9ホール終了後、パッティング練習は可とする。(本競技はスループレーではない)
6. スタート時間10分前には、必ずティイングエリア周辺に待機すること。
7. プレーの進行に留意し、先行組との間隔を不当にあけないように注意すること。プレーの不当な遅延は、ゴルフ規則5.6aにより罰せられる。
8. ラウンド中、競技者は部外者を近づけないよう十分、留意すること。これを怠ると、規則10.2aにより罰せられることがある。なお、部外者のコース内立入りは禁止する。
9. 委員会は競技中を含め、いつでも出場者に相応しくないと判断した競技者の参加資格を取り消すことができる。
10. スコアをカートナビに入力することができる。但し、この場合はラウンド終了後にキャディマスター室でプリントアウトされたカードを受け取り、競技者およびマーカ（同伴者の1名）が署名の上提出する。提出後の修正は認められない。

競技委員長 吉 成 健 二